

正					誤					備考
3編 単価 2章 標準歩掛り（直接工事費） 1節 直接仮設工事 表 1.12 内部躯体足場（鉄筋・型枠足場 階高 4.0m 以下） (床面積 1 m ² 当たり)					3編 単価 2章 標準歩掛り（直接工事費） 1節 直接仮設工事 表 1.12 内部躯体足場（鉄筋・型枠足場 階高 4.0m 以下） (床面積 1 m ² 当たり)					
名称	摘要	単位	所要量	備考	名称	摘要	単位	所要量	備考	
鋼製脚立	240×4,000mm	脚	0.1] 日額賃料×設計供用日数	鋼製脚立	240×4,000mm	脚	0.1] 日額賃料×設計供用日数	
合板足場板		枚	0.1		合板足場板		枚	0.1		
修理費		式	1		修理費		式	1		
普通作業員		人	0.01		普通作業員		人	0.01		
その他		式	1		その他		式	1		
(注) 1. 表中の施工手間は、掛け 65%、払い 35%の割合とする。 2. 標準設計供用日数は、20 日とする。ただし、平屋建ての場合の設計供用日数は、30 日とする。 3. 内部仕上足場への転用を考慮し、仮設資材賃料の基本料は形状しない。 4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。					(注) 1. 表中の施工手間は、掛け 65%、払い 35%の割合とする。 2. 標準設計供用日数は、20 日とする。ただし、平屋建ての場合の設計共用日数は、30 日とする。 3. 内部仕上足場への転用を考慮し、仮設資材賃料の基本料は形状しない。 4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。					
表 1.13 内部仕上足場（脚立足場 階高 4.0m 以下） (床面積 1 m ² 当たり)					表 1.13 内部仕上足場（脚立足場 階高 4.0m 以下） (床面積 1 m ² 当たり)					
名称	摘要	単位	所要量	備考	名称	摘要	単位	所要量	備考	
鋼製脚立	240×4,000mm	脚	0.1] 仮設資材賃料	鋼製脚立	240×4,000mm	脚	0.1] 仮設資材賃料	
合板足場板		枚	0.1		合板足場板		枚	0.1		
修理費		式	1		修理費		式	1		
普通作業員		人	0.02		普通作業員		人	0.02		
その他		式	1		その他		式	1		
(注) 1. 表中の施工手間は、掛け 65%、払い 35%の割合とする。 2. 標準設計供用日数は、20 日とする。ただし、平屋建ての場合の設計供用日数は、30 日とする。 3. 複数階への転用がある場合は、仮設資材賃料の基本料に転用率(表 1.13.2)を乗じて算定する。 4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。					(注) 1. 表中の施工手間は、掛け 65%、払い 35%の割合とする。 2. 標準設計供用日数は、20 日とする。ただし、平屋建ての場合の設計共用日数は、30 日とする。 3. 複数階への転用がある場合は、仮設資材賃料の基本料に転用率(表 1.13.2)を乗じて算定する。 4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。					
3節 地業工事					3節 地業工事					
1 一般事項 (1) 表 3.1～表 3.3 の細目工種は、標準歩掛りを適用する。 (2) 既製コンクリート杭地業における既製コンクリート杭の材料単価は、物価資料等の掲載価格による。また、これによりがたい場合は製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考に定める。 (3)から(8)省略					1 一般事項 (1) 表 3.1～表 3.3 の細目工種は、標準歩掛りを適用する。 (2) 既成コンクリート杭地業における既成コンクリート杭の材料単価は、物価資料等の掲載価格による。また、これによりがたい場合は製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考に定める。 (3)から(8)省略					
7節 鉄骨工事					7節 鉄骨工事					
1 一般事項 (1)から(5)省略 (6) 鉄骨建方用揚重機の費用は、別途形状する。 (7)省略					1 一般事項 (1)から(5)省略 (6) 鉄骨建て方用揚重機の費用は、別途形状する。 (7)省略					
2 標準歩掛り (1) 適用条件及び留意事項 イ. 現場建方は、低層及び中層の建物に適用する。なお、1 m ² 当たり鋼材使用量及び鋼材総使用量により補正する。					2 標準歩掛り (1) 適用条件及び留意事項 イ. 現場建て方は、低層及び中層の建物に適用する。なお、1 m ² 当たり鋼材使用量及び鋼材総使用量により補正する。					
5編 参考資料 1章 参考歩掛り 2節 土工事					5編 参考資料 1章 参考歩掛り 2節 土工事					
1 参考歩掛り (1) 適用条件及び留意事項 へ 土工機械への適用は、次表を標準とする。ただし、現場状況等によりその仕様が困難な場合は別途考慮する。					1 参考歩掛り (1) 適用条件及び留意事項 へ 土工機械への適用は、次表を標準とする。ただし、現場状況等によりその仕様が困難な場合は別途考慮する。					
土工名称	土工区分	適用機械	備考		土工名称	土工区分	適用機械	備考		
根切り	つぼ掘り及び布掘り	バックホウ 0.8 m ³			根切り	つぼ掘り及び布掘り	バックホウ 0.8 m ³			

正					誤					備考
埋戻し	山留め付き 総掘り	自立式	バックホウ 1.4 m ³	バックホウ積込	埋戻し	山留め付き 総掘り	自立式	バックホウ 1.4 m ³	バックホウ積込	
		切梁腹起方式	バックホウ 1.4 m ³	バックホウ積込			切梁腹起方式	バックホウ 1.4 m ³	バックホウ積込	
			バックホウ 0.45 m ³	クラムシェル積込				バックホウ 0.45 m ³	クラムシェル積込	
		グラウンドアンカー方式	バックホウ 1.4 m ³	バックホウ積込			グラウンドアンカー方式	バックホウ 1.4 m ³	バックホウ積込	
			バックホウ 0.8 m ³	クラムシェル積込				バックホウ 0.8 m ³	クラムシェル積込	
	法付き総掘り	バックホウ 1.4 m ³		法付き総掘り	バックホウ 1.4 m ³					
	小規模土工	バックホウ 0.28 m ³		小規模土工	バックホウ 0.28 m ³					
	盛土	つぼ掘り及び布掘り	バックホウ 0.8 m ³		盛土	つぼ掘り及び布掘り	バックホウ 0.8 m ³			
		山留め付き総掘り	バックホウ 0.8 m ³			山留め付き総掘り	バックホウ 0.8 m ³			
		法付き総掘り	バックホウ 0.8 m ³			法付き総掘り	バックホウ 0.8 m ³			
小規模土工		バックホウ 0.28 m ³		小規模土工		バックホウ 0.28 m ³				
敷ならし		ブルドーザ 3t 級		敷ならし		ブルドーザ 3t 級				
締固め		振動ローラ 2.4～2.8t		締固め		振動ローラ 2.4～2.8t				
すきとり		ブルドーザ 3t 級		すきとり		ブルドーザ 3t 級				
積込	一般	バックホウ 0.8 m ³		積込	一般	バックホウ 0.8 m ³				
	小規模土工	バックホウ 0.28 m ³			小規模土工	バックホウ 0.28 m ³				
建設発生土運搬	一般	ダンプトラック 10t 積級		建設発生土運搬	一般	ダンプトラック 10t 級				
	小規模土工	ダンプトラック 4t 積級			小規模土工	ダンプトラック 4t 級				
	人力土工	ダンプトラック 2t 積級			人力土工	ダンプトラック 2t 級				

12 節 ガラス工事

表 12.2 網入型板ガラス

名称	概要	単位	厚 6.8mm 特寸		備考
			2.18 m ² 以下	4.45 m ² 以下	
網入型板ガラス		m ²	1.03	1.03	
ガラス工		人	0.13	0.19	
その他		式	1	1	

表 12.5 複層ガラス

名称	概要	単位	FL5:A6:FL5		FL5:A6:PW6.8	
			2.0 m ² 以下	4.0 m ² 以下	2.0 m ² 以下	4.0 m ² 以下
複層ガラス		m ²	1.0	1.0	1.0	1.0
ガラス工		人	0.39	0.57	0.52	0.78
その他		式	1	1	1	1

(注) 1. 略記号は FL:フロート板ガラス、A:空気層、PW:網入磨き板ガラス、数値は厚さ (mm) を示す。
2. 全項目を「その他」の率対象とする。

12 節 ガラス工事

表 12.2 網入り型板ガラス

名称	概要	単位	厚 6.8mm 特寸		備考
			2.18 m ² 以下	4.45 m ² 以下	
網入り型板ガラス		m ²	1.03	1.03	
ガラス工		人	0.13	0.19	
その他		式	1	1	

表 12.5 複層ガラス

名称	概要	単位	FL5:A6:FL5		FL5:A6:PW6.8	
			2.0 m ² 以下	4.0 m ² 以下	2.0 m ² 以下	4.0 m ² 以下
複層ガラス		m ²	1.0	1.0	1.0	1.0
ガラス工		人	0.39	0.57	0.52	0.78
その他		式	1	1	1	1

(注) 1. 略記号は FL:フロート板ガラス、A:空気層、PW:網入り磨き板ガラス、数値は厚さ (mm) を示す。
2. 全項目を「その他」の率対象とする。